

令和3年度職員採用試験（第2回社会人経験者）
総合土木 専門記述試験（R3.10.17）

次の2つの課題のうち、いずれか1つについて回答しなさい。

= 課 題 1 =

○ 大規模災害で被災した公共土木施設の復旧について

近年、雨の降り方が局地化、集中化、激甚化しており、毎年のように全国で大規模な災害が発生しています。広島県では、平成30年7月の豪雨災害や、本年7月及び8月の記録的な豪雨により、県内各地で土砂崩れや河川の氾濫が発生し、道路や河川・砂防といった公共土木施設も数多く被災しました。

公共土木施設の復旧に当たっては、二次災害防止を図りながら、住民の日常の回復が図られるよう、計画的かつ早期に復旧に取り組む必要があります。

また、再度災害防止の観点から、改良復旧に積極的に取り組むとともに、被災前の構造にこだわることなく被害の発生の要因を踏まえた工法の選定などにより、公共土木施設の強靱化を進める必要があります。

そこで、大雨により被災した公共土木施設の災害復旧に取り組むに当たって、次の2点について、あなたの考えを述べなさい。

- ① 災害復旧を計画的かつ早期に進める上での必要な取組について
- ② 公共土木施設の再度災害防止を図るために必要な取組について

= 課 題 2 =

○ 農業用ため池の防災・減災対策について

広島県では、平成30年7月豪雨において、農業用ため池の決壊や損壊等により下流への被害が発生したことから、迅速な避難行動につなげるために必要な防災情報の発信、農業用ため池の防災対策を進めてきました。

一方で、農業用ため池の多くは農業者が管理していますが、高齢化の進行や利用者の減少などにより、管理が難しくなっている箇所が増えています。

このような状況を踏まえ、今後の農業用ため池の防災・減災対策についてどのようなことに留意して取り組むべきか総合土木技術職員の立場から、あなたの考えを具体的に述べなさい。